

県連キャンポリー2019

実施要綱

「ベストパトロール」



実施日：2019年11月23日（土）～11月24日（日）

場 所：沖縄県立玉城少年自然の家

主 催：一般財団法人 日本ボーイスカウト沖縄県連盟

実施要綱

1. 開催の趣旨

各班が、班長を中心に班サイト設営およびスカウト技能競技を競い合い、班の結束およびスカウト技能をより高める。

班サイト設営においては、快適なキャンプ生活が過ごせるよう、日々改善に努める。

2. 大会名称 : 県連キャンポリー 2019

3. テーマ : 「ベストパトロール」

4. 主催 : 一般財団法人 日本ボーイスカウト沖縄県連盟

電話 098-943-2385

F A X 098-943-2387

5. 実施日 : 2019年11月23日(土)～11月24日(日)(23日から前泊可で野営)

6. 場所 : 沖縄県立玉城少年自然の家

7. 参加資格

日本ボーイスカウト沖縄県連盟に登録したボーイ隊、ベンチャー隊スカウト及び指導者。また、本大会の趣旨に賛同し、実行委員会が参加を認めた者。保険については各団にて対応するものとする。

8. 参加費

BS 隊 スカウト参加費 : 1,000 円/1 名 隊参加費 : 1,000 円/1 隊

VS 隊 スカウト参加費 (1,000 円/1 名) 隊参加費 : 無し

指導者参加費 : 1,000 円/1 名

参加費内訳 : 施設使用料・大会運営費、大会ワッペン、リボン

※事前申込みのない指導者には、大会ワッペンの支給はありません。

9. 参加申込み

所定の参加申込書必要事項を記入の上、締切期日までに参加費を添えて県連事務局に申し込む事。

※締切期日 : 11月 5日(火)

10. 班編成および班活動について

原隊の班編成を基本とするが、少人数の隊については特編班を結成してもよい。

班サイト設営およびスカウト技能競技は、班単位の活動を基本とする。

11. 大会組織図 (別紙1)

12. 日程表 (別紙2)

13. 大会運営方針 (別紙3)

14. プログラム概要&表彰 (別紙4)

15. 健康管理

各隊の指導者は、スカウトへの健康管理についての指導を十分行うこと。

スカウトは、「健康調査書」に健康状況を記入し保険証コピーを添付して、各隊長へ提出する。

健康調査書は、各隊長が保管する事。

16. 野営則・安全管理等について (別紙5)

各隊の指導者は、スカウトへの安全管理についての指導を十分行うこと。

17. 緊急時の連絡

緊急事態が発生した場合は、以下のいずれかに、速やかに連絡する事。

実行委員長 : 実行委員長 : 金城 090-5029-8631

大会長 : 宮里 090-6864-7070 キャンプコミッショナー : 川端

18. 個人装備品・隊装備 (別紙6)

19. 健康調査書 (別紙7)

20. 参加申込書 (別紙8)

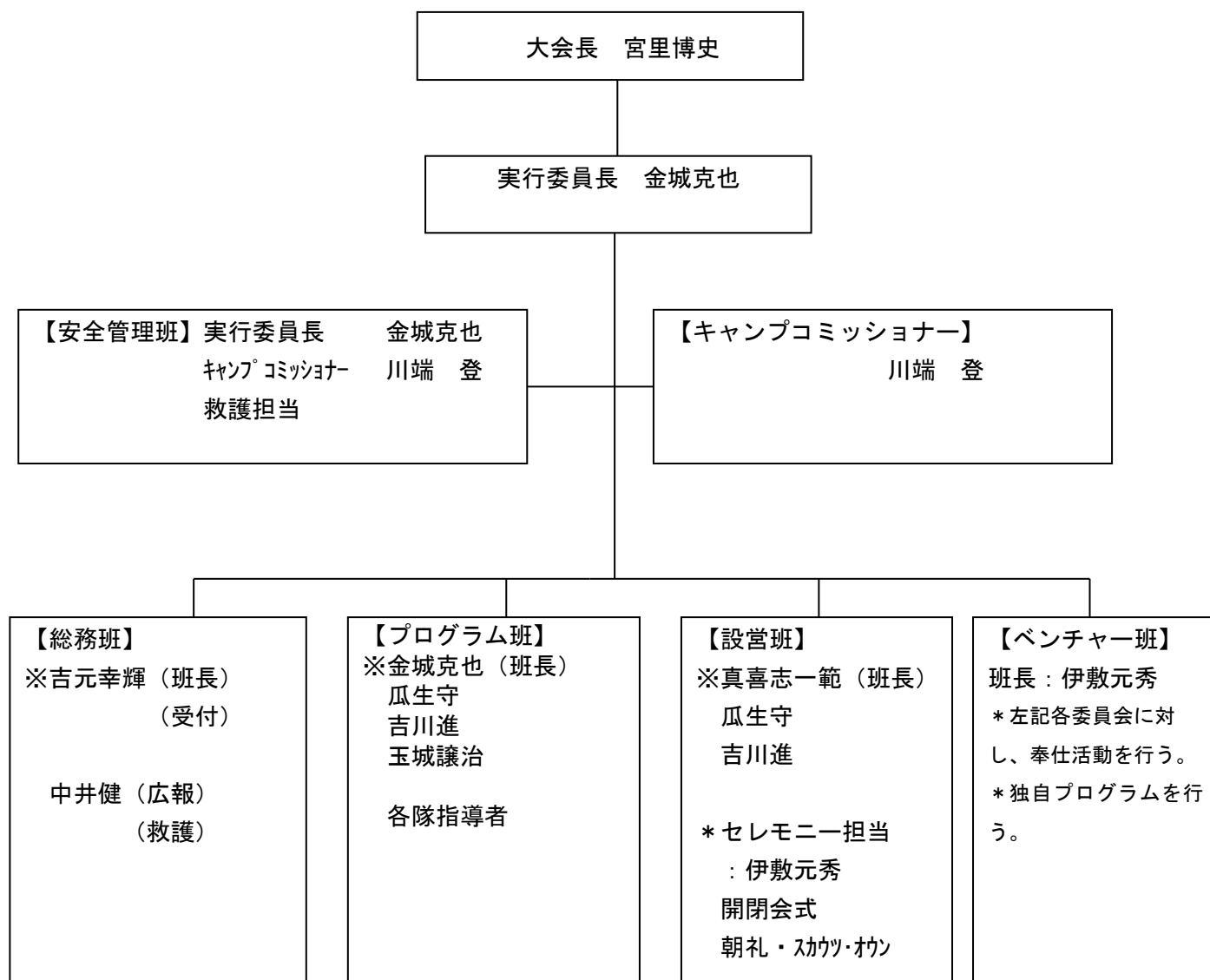
<<大会開催までのスケジュール>>

* 11月 5日(火) 17:30 大会参加申込み締切

* 10月24日(木) 19:30 プログラム説明会 県連事務局にて

* 11月23日(土)～11月24日(日) 県連キャンポリー (前泊を含んだ期間)

大会組織図



プログラム【担当団名】

1. 班対抗競技

- | | |
|-----------|--------------|
| ①計測 | 【 浦 添 4 団 】 |
| ②火おこし | 【 沖 縄 1 団 】 |
| ③救急法 | 【 那 覇 1 団 】 |
| ④スペースフラッグ | 【 那 覇 16 団 】 |
| ⑤読図・コンパス | 【 与那原 1 団 】 |
| ⑥サイトコンテスト | 【 本 部 】 |

2. 全体競技:

- | | |
|--------|-------------------|
| ①ハイキング | 【 本部スタッフおよび全指導者 】 |
|--------|-------------------|

緊急連絡先

※消防

島尻消防組合 098-948-2512
(救急車) → 119

※警察

与那原警察署 098-945-0110
(緊急) → 110

※病院

沖縄県立南部医療センター 098-888-0123
南部徳洲会病院 098-998-3221

※玉城少年自然の家 098-948-1513

皆さまのご協力よろしく申し上げます。

県連キャンポリー2019 日程表

11月22日(金)		11月23日(土)		11月24日(日)	
時間	内 容	時間	内 容	時間	内 容
		8:00	受付開始 設営(昼食含む) 開会式までに設営する事 昼食:弁当持参可	6:00	起床 朝食の準備は各サイト内 で行う事(ガス炊飯) ※昼食の準備もする事
		11:30	班長・隊長会議	7:00	朝食
		12:30	開会式「司会:VS隊」 1. 国旗掲揚 担当【 】 2. 歌「連盟歌」 3. 大会長挨拶 4. 実行委員長 諸注意	8:00	サイト点検(コンテスト)
		12:45	5. 閉式	8:30	朝礼「司会:VS隊」 1. 国旗掲揚 担当【 】 2. 歌「わが旗かざし」 3. 実行委員長 諸注意 4. 閉式
		13:00	班対抗競技 開始 ※3種目(3時間) ※ローテーション で実施 ・計測 ・火おこし ・救急法	8:45	スカウト・ウォン 担当【 】
15:00	スタッフ現地入り 本部設営 競技資材搬入 競技場設置 各隊サイト割	16:00	競技終了 後片付け 夕食準備(薪炊飯) ※炊事棟使用	9:00	班対抗競技 ※2種目(2時間) ・スペースフラッグ ・読図・コンパス
		18:00	国旗降納【 】	11:00	昼食
		18:30	夕食 ※設営が十分でない隊は 設営を行う事	12:00	全体プログラム ※1種目(1.5時間) ・ハイキング
20:00	スタッフ会議	20:00	班長・隊長会議	14:30	閉会式「司会:VS隊」 1. 講評 2. 表彰 3. 歌「光の路」 4. 国旗降納 担当【 】 5. 閉会
22:00	消灯	22:00	消灯	15:00	撤収

大会運営方針

- (1) セレモニー（開会式、朝礼、閉会式）
 - ①制服、制帽を着用
 - ②隊旗、班旗を持参
- (2) 活動
 - ①班長を中心とした班活動とし、班単位で行動する。
 - ②班旗を装備すること。
 - ③活動中は、活動着・帽子・チーフでも可とする。
- (3) プログラム
 - ①プログラム担当の団を決め、その団が中心となって運営する。
- (4) 野営について（サイトコンテストの得点に反映する）
 - ①キャンプサイトは、所定の場所に設営し、境界を明確にする事。
 - ②キャンプサイトには、以下のものを設置する事。
 - ・ゲート（門）
 - ・テント
 - ・食堂
 - ・炊事場
 - ・資材置場
 - ③パトロールボックスの活用について
本大会においては、パトロールボックスの活用を推奨する。よって、パトロールボックスのある班は加点する。
 - ④食器・工具等が、直接地面に置かれていない事。
 - ⑤その他 快適なキャンプ生活が過ごせる工夫がされている事。
- (5) 炊事
 1. 夕食について
 - ①施設のカマドを使用して、薪炊飯を行う。
 - ②施設の炊事場も使用可とする。
 2. 朝食・昼食について（施設のカマド・炊事場は使用しない）
 - ①昼食は、朝食と一緒に調理する事。
 - ②炊事、食器の洗浄等、水の使用はサイト内で行う。
 - ③水をできる限り使用しない料理を考える。
 - ④ガス、ホワイトガソリン等の燃焼器具を使用すること。
直火は禁止とする。
- (6) 排水
 - ①炊事等により生じた汚水は、調理くず、残飯等を除去のうえ炊事場で処分すること。（キッチン用ネットで調理くずをとる）
- (7) 安全対策
 - 別紙5を参照する事。
- (8) 撤収
 - ①閉会式後、撤収を開始する事。
 - ②キャンプサイトからの搬出は、閉会式終了後とする。
- (9) 車両の駐車
 - ①車両は施設内の所定の駐車場に駐車すること。
 - ②資材の搬入・搬出を除き、施設内の通路に駐車しないこと。
- (10) 施設の使用
 - ①施設内は公共の場であり、他の利用者に配慮すること。
 - ②施設の利用規程、管理者の指示に従うこと。
- (11) ゴミの処分
 - ①ゴミの減量に努めること。
 - ②ゴミは各隊の責任において、全て持ち帰りとする事。
- (12) 指導者について
 - ①セーフ・フロム・ハームを遵守する事。
 - ②指導者はキャンプ資材の搬入・搬出時を除き、班サイトへの立ち入らない事。

02.火起し

【担当:沖縄 1団】

競技内容

空き缶かまどを使ってゆで卵を作る。
燃料は、薪以外でも会場内に有る物ならOKとする。

1) 空き缶かまどの作り方

蚊取り線香の空き缶をくぎなどで焚口(たきぐち)を作り
線香ガードを裏返して五徳として使用し、
スチール缶の飲み口側を開けて鍋代わりとして茹で卵を作る。

2) 班で準備するもの

ハンマー・缶切りorアーミーナイフ・マッチ
蚊取線香の空き缶・スチール缶・釘・ニッパー

03. 救急法

【担当: 那覇 1 団】

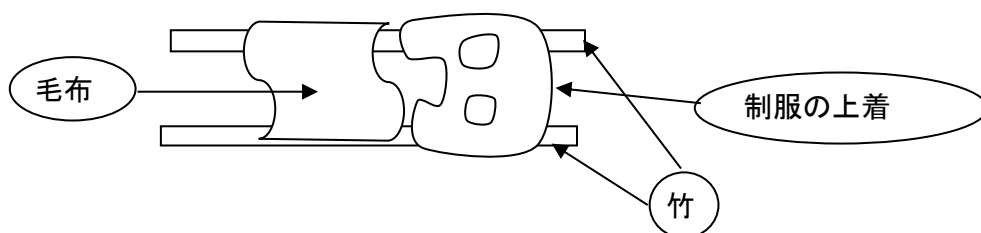
① 救急法リレー

包帯法・搬送法（二名搬送及びタンカ）

ネッカチーフを使って一人のスカウトを応急措置し、他の二名のスカウトが搬送し途中で救急タンカ（制服と毛布と竹二本で作る）に患者を引き継ぎゴールに向かう。

ア・救急法と順序（1名のスカウトをケガ人役とする

- ・ネッカチーフを使って、たたみ三角巾で包帯を2枚作る。
- ・ケガ人に頭の包帯（たたみ三角巾）をする。
- ・次に足関節の固定（たたみ三角巾による捻挫の処置）
- ・ケガ人を他のスカウト2名で2人搬送法で運ぶ。（5m移動）
- ・竹2本と毛布、制服の上着でタンカを作りケガ人を乗せゴールに搬送。



イ・資材（1班分）

- ・ネッカチーフ2枚：スカウトの物を使用。
- ・竹2本
- ・毛布1枚
- ・制服の上着（本部スタッフ）

04.スペース・フラッグ(班旗たて・縛材法)【競技の全所要時間60分間】

【班旗を竹に結び、竹とロープで空中固定する】

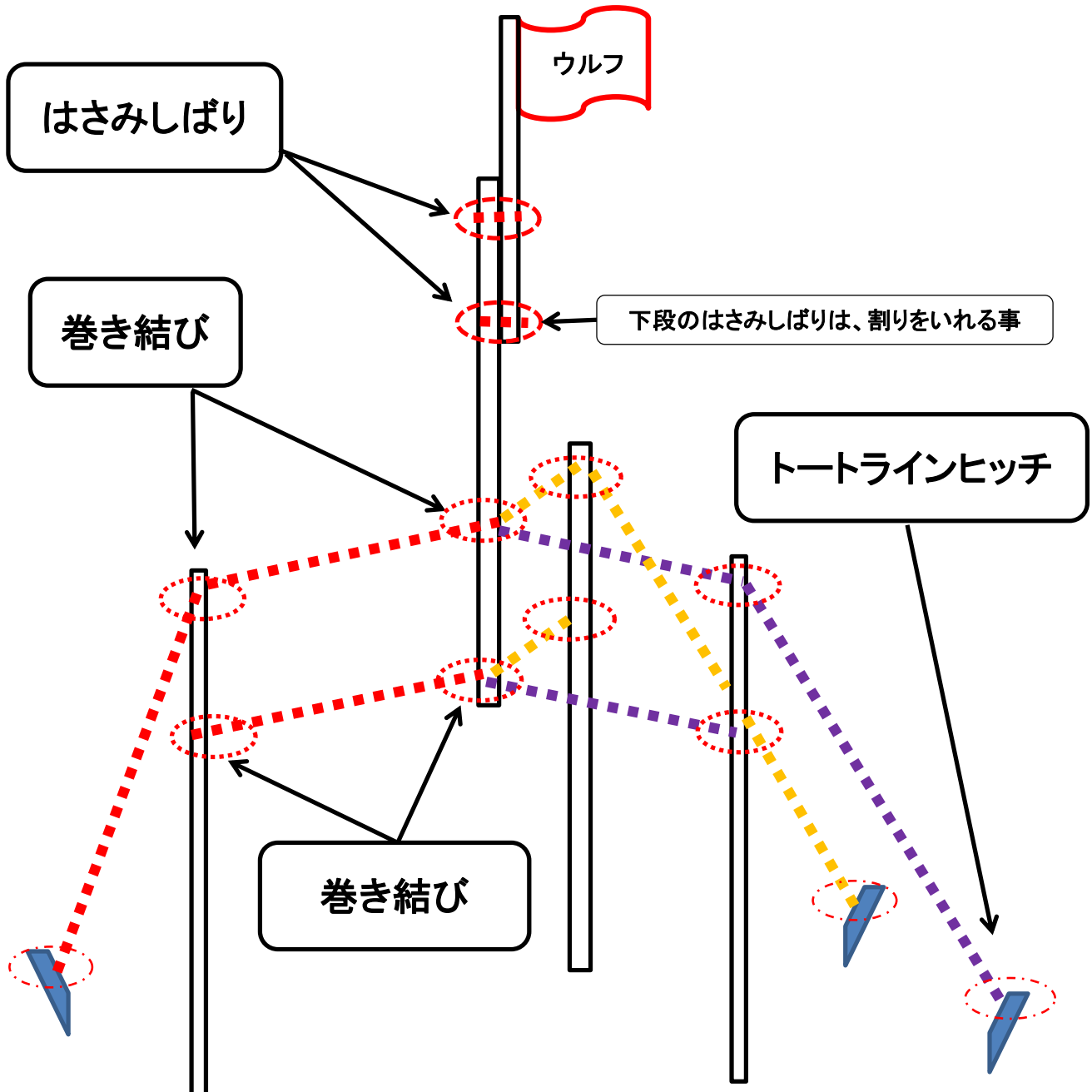
【担当団：那覇 16団】

ア・資材 (各班準備品)

- ・班旗
- ・竹:2m×4本、
- ・ロープ6m×3本、4m×3本、2m×2本(はさみ縛り用なのでバックロープなど細い物がよい)
- ・ペグ×3本、ハンマー×1本

イ・採点方法(ロープワークの正確さとスピードを競います)

- ・満点は100点
 - ・制作に要する制限時間は40分間
 - ・超過マックス5分間
 - ・採点2~3分間
 - ・撤収7~10分間
 - ・移動5分
 - ・制限時間1分超過で1点減点
 - ・ロープの緩み、はずれで1箇所につき5点減点
 - ・ロープの結び・縛りの間違いは1箇所につき5点減点
 - ・班長を中心にチームワークの良い班は、ボーナス点で10点加算
- ※ロープワークはスカウトハンドブック参照すること



05. 読図・コンパス

【担当団：与那原 1 団】

- 準備品（班）
 - ・ シルバコンパス 座標定規 スカウトハンドブック 筆記用具
 - ・ 50cm 物差し
 - ・ 画板等の A3 の地図が置ける板
- 準備品（担当者）
 - ・
 - ・ 翌日実施するハイキングの地図（各班へ配布する）
- 展開
 - ・ 1. 読図・コンパスの練習（30分）
 - ・ ・
 - ・ 2. 読図・コンパス競技（30分） 各 10 点／計 50 点
 - ・ ・ 地図の正置ができるか？
 - ・ ・ 指示されたポイントの座標を読めるか？
 - ・ ・ 指示された座標を、地図にポイントを打つ事ができるか？
 - ・ ・ 指示されたポイントまでの距離を読めるか？
 - ・ ・ 指示されたポイントの方位角を読めるか？
 - ・
 - ・

06. サイトコンテスト

【担当：本部】

* 採点は、別紙3の大会方針（4）を基本として、各班のサイトを点検して行う。

* 本競技の配点は、他の競技の2倍とする。

※別紙3の大会方針（4）野営について

- ①キャンプサイトは、所定の場所に設営し、境界を明確にする事。
- ②キャンプサイトには、以下のものを設置する事。
 - ・ゲート（門）
 - ・テント
 - ・食堂
 - ・炊事場
 - ・資材置場
- ③パトロールボックスの活用について
本大会において、パトロールボックスの活用を推進する。
- ④食器・工具等が、直接地面に置かれていない事。
- ⑤その他 快適なキャンプ生活が過ごせる工夫がされている事。

7. ハイキング 【担当団：本部 & 全指導者】

- 準備品（班）
 - ・ シルバコンパス、座標定規、筆記用具
 - ・ スカウトハンドブック
 - ・ 画板等の A3 の地図が置ける板
 - ・ デジカメまたはスマホ
- 準備品（本部）
 - ・ ハイキングに使用する地図
- 展開
 - ・ スタッフから指示された座標を、配布された地図（各班に 1 枚）に印をつけ、スタッフに確認してもらう。
 - ・ できるだけ多くの特定が得られるように、コースを考え、スタッフに確認してもらう。
 - ・ 上記の作業を終えたら、ハイキングに出発する。
 - ・ ゴールしたら、本部スタッフの採点を受ける事。
 - ・ ※各指導者は、パトロールを行い、スカウトの安全を確保する事。
 - ・
- 採点方法
 - ・ 各ポイントを通過すれば 10 点が加点される。通過確認は指定されたポイントが判る写真をデジカメまたはスマホ撮ってくること。
 - ・ 所定の時刻に遅れた場合、2 分で 100 点の減点となる。
 - ・ 加点と減点を合計して、得点の多い班から順位を決める。
 - * 本競技の配点は、他の競技の 2 倍とする。
 - ・
 - ・

野 営 則

1. すべての行動は、ボーイスカウトの「ちかい」と「おきて」を基本とする。
2. 安全第一でプログラムを展開し、道草はしないこと。危険と思われる所や禁止された場所へは近づかないこと。
3. 健康管理は自分の責任において行うこと。気分が悪くなったら近くにいる誰かに助けを求めること。
4. 規則正しく、節度ある態度で野営生活を楽しむこと。
5. 班長を中心に、班のチームワークを活かして目標を達成すること。
6. できないからやらないのではなく、失敗をおそれできないからやってみる勇気をだすこと。
7. スマートネスは、スカウティングにおける最大のパフォーマンスである。身だしなみをきちんとし、気持ち良い行動をすること。
8. 自然と触れ合うことは、自分を成長させるもの。自然を大切に思う心を持って行動すること。
9. 設営は早く正確に、気持ちのいいサイト環境をつくること。
10. 来たときよりも綺麗なサイトになるようにすること。

安全管理等について

1. 安全の三原則

- ①各隊の指導者は、事前に安全対策の指導を十分行う事。
- ②安全の三原則に従う。
 - 「安全は全てに優先する」
 - 「自分の安全は自分で守る」
 - 「定められたルールや注意事項を守る」
- ③安全は、小さな対策の積み重ねであることを認識する。安全は全てに優先する

2. 刃物の取扱い

期間中は、食事などで薪を使用するため、各生活サイトでは、薪を割る作業が出てきます。普段使い慣れていない刃物を使用する場面が多いため、十分な準備と注意が必要です。

- ・ 刃物は、管理されたもの（研がれたもの）を使用すること。
- ・ 斧やナタの使用に際しては、事前に訓練、指導を受けること。
- ・ 斧、ナタ、ナイフの用途、適性を理解すること。
- ・ 必要に応じて軍手を使用すること。
- ・ 斧、ナタを使用する場所を定め、周囲の状況を十分に把握すること。
- ・ 刃物の使用は、必要時のみの最小限であること。
- ・ 保管する場所を定め、サイト内で適切に管理すること。

3. 火の使用

期間中は、薪を使用して調理します。火を扱うことが多くなりますので、火傷をしないように注意が必要です。

- ・ 火を管理する担当を明確にすること。
- ・ 必要に応じて軍手を使用すること。

- ・ 火傷をした場合の対処法を理解すること。
 - ※ 軍手に熱湯がかかると、火傷がひどくなる危険がある。
 - ※ 衣服を着た状態で火傷した場合、衣服をぬがせてはいけない。
- ・ いつでも消火できる準備をすること。
- ・ 火の使用は、必要時の最小限であること。
- ・ 燃料や燃焼器具を使用する場合には、取扱いについて十分に指導を受け、使用に習熟したスカウトが使用すること。

4. 衛生

期間中、健康で過ごすためには、食事や水など、衛生管理に注意することが必要です。特に夏場は、食中毒が起きる危険性が高いため、食材の管理には特に注意が必要です。

- ・ 原則、食材は生活サイトでは保管しない。ただし、生活サイトで食材（調味料等）を保管するよう指示があった場合には、直射日光を避け、涼しい場所で保管すること。
- ・ 川の水は、飲料水には使用しない。飲料水は指示されたものを使用すること。
- ・ 食器や炊具等は、使用する場合には煮沸を行い、使用後は乾燥に心掛けること。
- ・ 調理くずや残飯、及びゴミは、指示された方法で適切に処理すること。

5. 体調管理

キャンプ生活を快適に楽しく過ごすためには、各個人で体調を管理することが大切です。食事と睡眠を十分にとり、規則正しい生活を送れるよう心掛けてください。

- ・ 食事を十分に摂り、また排便についても我慢せず、プログラム中でもトイレを優先すること。
- ・ その日の疲れを残さないよう、睡眠を十分にとること。
- ・ こまめに着替えをしたり、体を拭いたりするなど、清潔の保持に努めること。

6. 野営生活

キャンプで集団生活を送るためには、ルールを守り、他の参加者に配慮することが大切です。また、通常の生活とは異なる環境にありますので、班長を中心とした生活を基本として、普段の生活以上に色々なことに気を配る必要があります。

- ・ 整理整頓に心掛け、いつでも避難できるよう準備しておくこと。
- ・ 生活サイトを離れる場合には、必ず班長に報告し、班長の指示に従うこと。
- ・ 夜間の単独行動は、禁止とする。（時に、方向感覚を失うことがある）
- ・ 夜間、昼間を問わず、河川、河川の周辺、橋を渡る場合など、常に安全を意識すること。
- ・ 天候の変化等に関心を持ち、野営管理を徹底すること。また、面倒なことであっても日々の改善を心掛けること。
- ・ 害虫や小動物からの被害を防止する努力と工夫をすること。
- ・ 周辺の環境整備は、各班で率先して行うことを期待します。

7. プログラム中の安全管理

プログラムの中には、万全の安全管理を必要とするものがあります。指導するリーダーの指示に従い、それぞれのプログラムの課題にチャレンジして下さい。

- ・ 必要な器具、機材を備えること。
- ・ 安全を他人任せにせず、各自で安全確認を行うこと。

個人装備品

以下を参考に、各自で準備する事。

- ・ 制服
 - ・ 正帽
 - ・ 活動着
 - ・ 活動帽（キャップ）
 - ・ 持薬
 - ・ 日焼け止め
 - ・ 虫よけ薬
 - ・ 着替え（シャツ・ズボン・パジャマ・下着類）
※2泊3日の野外キャンプに必要な分を各自考えてください。
 - ・ サンダル
 - ・ 雨具
 - ・ 寝袋
 - ・ ロールマット
 - ・ 個人用イス
 - ・ 懐中電灯（予備乾電池含む）
 - ・ ナイフ
 - ・ シルバコンパス
 - ・ スカウトロープ
 - ・ 筆記用具
 - ・ 軍手
 - ・ 裁縫用具
 - ・ 水筒
 - ・ 洗面具
 - ・ 健康調査書（健康保険証コピーを添付）
 - ・ 雑巾 1枚
- ・ その他、2泊3日の野外キャンプに必要なもの

※以上を、ひとつのリュックサックにパッキングして両手は、空けておく事。

隊装備品（班装備品）

※テント・炊事用具・食器・その他の隊装備品は、各隊にて準備する事。

※本大会は、班毎にサイト設営する事になるので、そのように装備を準備する事。

番号	名称		番号	名称	
①	<p>玉城城跡の石門</p> <p>玉城城跡は標高約180メートルの天然の要塞に築かれた城跡。急な階段を上ると、石灰岩をくり抜いた印象的な円形の城門があり、ここからは久高島や本島中南部が一望できる。別名をアマツツ城といわれ、沖縄の開祖神アマミキヨが築城し、その子孫である天孫氏が城主であったとも言われている。</p>		⑥	<p>糸数気象レーダー観測所</p> <p>気象レーダーは、気象状況を観測するためのレーダーである。アンテナから電磁波を放射し、反射して返ってくる電磁波を分析することで、雨や雪の位置と密度、風速や風向などを観測している。レーダーの種類にはいくつかあり、それぞれ観測できるものが異なる。</p>	
②	<p>ももとふみあがり</p> <p>百十踏揚の墓</p> <p>百十踏揚は、尚泰久王(第一尚氏)の長女で、勝連城主の阿麻利和のもとに嫁いだ。阿麻利和が倒れた後、鬼大城といわれた越来城主の大城賢雄に嫁いたが、尚円王(第二尚氏)によって大城賢雄が敗れてからは、兄の三津葉多武喜(みつばたぶき)のもとに身を寄せた。この写真の左側に立っている透明人間のポーズを想像して写真を撮ってください。</p>		⑦	<p>糸数城跡の石門</p> <p>慶良間列島まで見渡せる高台に、中世をしのばせる壮大な城壁が続く。本島南部最大級のグスクである糸数城跡は、玉城城の西の守り城として築かれた。城壁は野面積みと切石積みと両方用いられ、切石積みの部分が最も高く約6メートルで、この上に立つと太平洋と東シナ海が眼下に望めます。</p>	
③	<p>番所公園(南城市役所そば)</p> <p>番所とは現在で言う役場のこと。ももとのこの場所に玉城村役場と玉城小学校があった。公園には樋川もわき出でて心地よい空間です。</p>		⑧	<p>糸数アブチラガマ案内看板</p> <p>糸数アブチラガマは、南城市玉城字糸数にある自然洞窟(ガマ)です。沖縄戦時、ももとは糸数集落の避難指定壕でしたが、日本軍の陣地壕や倉庫として使用され、戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となりました。軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属され、全長270mのガマ内は600人以上の負傷兵で埋め尽くされました。</p>	
④	<p>しょうたいきゅうおうりょうぼ</p> <p>尚泰久王陵墓</p> <p>三山を統一した尚巴志(第一尚氏)は、父親の尚思紹を初代国王に就かせ、自からは第2代国王に就いた。尚巴志の六男布里は、五男尚金福の子志魯と王位を争い、結局、2人とも国王にはなれず、七男の尚泰久が第6代の国王に就いた。尚泰久は護佐丸の娘を正妃とし、その長男は安次富加那巴志(あしとみかなはし)、次男は美津波多武喜(みつばたぶき)、そして長女は百十踏揚です。</p>		⑨	<p>糸数老人クラブゲートボール場</p> <p>この看板に書いてある「3ない運動」を隊長におしえてあげましょう。</p>	
⑤	<p>しょうふり</p> <p>尚布理の墓</p> <p>王にならなかった王族のささやかな墓。琉球を初めて統一した尚巴志、その六男・布里は、第5代国王・尚金福の死後、その子・志魯と後継を争い、激しい斬り合いの末、当時の首里城を火の海とした。両者とも戦死という説や、布里は生きて城外に逃れたという説もあるが、いずれにしろ尚布理は王座につかず、58歳で亡くなり、第一尚氏発祥の地に近いこの場所に葬られたと伝えられている。</p>				

1:12,500



南城市

スタート & ゴール

琉球G.C

屋嘉部

公民館

体育館

グスクロード公園

玉城城跡

なかんだかり
仲村渠

アーヂ島

新原ビーチ

雄樋川

雄樋川大橋

志堅原

中山

新原

百名

奥武

山里

武喜屋

恒花

喜良原

系数

ゴルフ場

船越